

9 医療提供体制推進事業費補助金（8020運動推進特別事業）

8020達成サポート事業

1 背景、経緯

「8020（ハチマルニイマル）運動」は、昭和63年に愛知県衛生対策審議会歯科保健対策専門部会（当時）において提唱され、それ以降この運動が全国に広まった。平成13年3月に策定された「健康日本21あいち計画」では、県民の健康長寿の実現を目指しており、これまでの本県の調査（平成19～21年度8020達成者追跡調査）から、8020運動の推進は健康長寿の延伸につながるということが報告されている。

歯の喪失は、60歳を境に急増する現状にある（平成17年歯科疾患実態調査：厚生労働省）。昨年度から団塊の世代の定年退職が始まり、多くの退職者が自らの健康を考え実践する時間的余裕のことが期待される。

また、「健康日本21あいち計画」の第2期策定に向け、高齢者の口腔と健康長寿の関連を裏付ける基礎資料を得る必要がある。

2 目的、効果

- 現在市町村で実施されている歯周疾患検診の委託機関である歯科診療所を活用し、60歳、70歳の県民に対して、20年後、10年後の8020達成を自らの将来イメージとして意識づけ、良好な保健行動を定着することができる。
- 市町村の既存事業との協働による啓発は、効率的かつ有効に事業展開できる。
- 高齢者の口腔と健康寿命の関連についての実態調査を行うことで、今後の歯科保健対策を推進するための指標及び基礎資料を得ることができる。

3 事業内容

(1) 8020達成サポート啓発事業

- ア 60歳「お疲れ様歯科健診」キャンペーン：歯周疾患検診対象者への受診行動の啓発
- イ 70歳「8020手帳」の配布：歯周疾患検診受診者へ健康管理手帳を配布
- ウ 市町村広報紙の活用、歯科診療所に啓発ポスター掲示

(2) 高齢者の口腔と健康寿命に関する実態調査

- ア 調査対象者：調査時点の年齢が80歳、85歳、90歳の県民
- イ 調査方法
 - 〔一次調査〕各年齢100人に1人の割合で無作為抽出し、郵送法による現況の把握
 - 〔二次調査〕歯科診療所または訪問による食生活・生活習慣調査、口腔内診査
- ウ 対照群調査

80歳：8020表彰者に対してアンケート調査実施

85歳・90歳：平成19～21年度8020表彰者追跡調査のデータを活用

(3) 今後の予定 継続事業として3年間実施

(4) 委託契約期間 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで